

埼玉県老人クラブ連合会機関誌

平成28年
7月29日 NO. 109

彩愛クラブ埼玉

SAIAI CLUB SAITAMA

目次	●就任挨拶 高橋義一／平成28年度定時評議員会	2
	●平成28年度 第1回理事会／平成28年度 第2回理事会	3
	●平成27年度 一般会計収支決算報告	4
	●各地区連絡協議会開催報告	5
	●平成28年度 関東甲信越静岡ブロック老人クラブリーダー研修会	6
	●ワナゲ・マグダーツ普及講習会／女性委員会交流研修会	7
	●特集「新地域支援事業」について④	8・9
	●全老連 老人クラブリーダー中央セミナー	10
	●県老連 振り込め詐欺被害防止キャンペーン	10
	●さしまろーライフ 特別養護老人ホームを訪問！ 入居者との「エコファッションショー」	11
	●さいたま市老連「平成28年度総会」	12
	●川越市老連 第八支部「岸町カラオケ発表会」開催	12
	●さいたま市中央区桜寿会「誕生会」	14
	●元気に活躍する会員さん紹介／編集後記	16



彩の国

就任挨拶

埼玉県老人クラブ連合会

会長 高橋 義一



会員の皆様には、日頃から老人クラブ活動につきま

ご尽力をいただき、誠にありがとうございます。このたび、御礼申し上げます。このたび、平成二十八年度第二回理事会において、県老連の会長として再任されました。クラブ活動のすばらしさを更に訴え、新たな決意で前進して参る所存です。

さて、昨年度の介護保険制度の見直しにより、市町村は要支援に対して、平成二十七年から三年間において独自の「新地域支援事業」に取り組み、対応しなければなりません。老人クラブではこれまで、地域の支援を必要とする会員・高齢者を対象に、声かけ、安否確認、話し相手、ごみ出し、外出支援等の友愛活動に取り組んできました。この経験を活かし、地域の方々と共に要支援高齢者の介護・生活を支え、助け合い、多くの市町村老連が新地域支援事業の担い手として参画し、会員のみな

らず、地域の高齢者による支援の輪を広げることが、会員増強運動の成果にもつながるはずで

す。全国老人クラブ連合会では、平成二十六年から、五カ年計画で老人クラブ「百万人会員増強運動」に着手し、それに伴い、埼玉県老連でも「三万人会員増強運動」と題し、この運動を普及・推進しています。今こそ、皆様の力を結集し、老人クラブの活性化と会員増強運動に弾みをつけようではありませんか。それには、皆様のご協力が必要不可欠です。どうか、お力添えをいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

老人クラブのもっともすぐれている点は、地域に根ざし、仲間作りで団結できるということでありま

す。支え合いながら、楽しく活動し、地域での様々な問題について、必ず解決できる力があります。

これからも、会員の皆様が積極的な活動を展開され、健康で生きがいのある生活がえられるよう心よりご祈念申し上げます。

平成二十八年度 定時評議員会

平成二十八年六月三日（金）、彩の国すこやかプラザにおいて定時評議員会を開催しました。

出席者は評議員六名で概要は次のとおりです。

議事録署名人

- ・議長 小林 英
- ・評議員 村田文雄
- ・評議員 増田功夫

◆第一号議案「平成二十七年年度事業報告について」

原案のとおり承認されました。

◆第二号議案「平成二十七年年度収支決算について」

原案のとおり承認されました。

◆第三号議案「理事の選任（補充）について」

左記の者が選任されました。

成田準之助（春日部市）、内田親（加須市）、染谷誠一（三郷市）、添田晋六（久喜市）、玉水きみ子（春日部市）、高野光長（鶴ヶ島

市）、細井地久（ふじみ野市）、抜井弥太郎（志木市）、清水勝美（日高市）、宇津木忠征（川島町）、野島充枝（新座市）、高橋義一（川口市）、竹内榮一（さいたま市）、堀越一三（北本市）、新藤享弘（さいたま市）、駒場玲子（川口市）、新井正一郎（寄居町）、米澤幸藏（熊谷市）、花形宏一（上里町）、坂本好司（小鹿野町）、大久保留里子（秩父市）、落合一弘（学識経験者）

◆第四号議案「監事の選任（補充）について」

左記の者が選任されました。

後藤勉（さいたま市）



平成二十八年年度 第一回理事会

平成二十八年五月十九日（木）、彩の国すこやかプラザにおいて第一回理事会を開催しました。

出席者は理事十七名、監事一名で概要は次のとおりです。

議事録署名人

- ・会長 高橋義一
- ・監事 野口元固

◆**第一号議案「平成二十七年年度事業報告について」**
原案のとおり承認されました。

◆**第二号議案「平成二十七年度収支決算について」**
原案のとおり承認されました。

◆**第三号議案「分担金規程の一部改正について」**
原案のとおり承認されました。

◆**第四号議案「友愛実践活動モデル事業のモデル市町村老人クラブ連合会の指定等について」**
原案のとおり承認されました。

◆**第五号議案「平成二十八年度定時評議員会の開催について」**
原案のとおり承認されました。



平成二十八年年度 第二回理事会

平成二十八年六月三日（金）、彩の国すこやかプラザにおいて第二回理事会を開催しました。

出席者は理事十九名、監事一名で概要は次のとおりです。

議事録署名人

- ・会長 高橋義一
- ・監事 野口元固

◆**第一号議案「会長、副会長、常務理事の選定について」**
左記のとおり決定しました。

- | | |
|------|-------------|
| 会長 | 高橋義一（川口市） |
| 副会長 | 成田準之助（春日部市） |
| 副会長 | 高野光長（鶴ヶ島市） |
| 副会長 | 竹内榮一（さいたま市） |
| 副会長 | 新井正一郎（寄居町） |
| 副会長 | 駒場玲子（川口市） |
| 常務理事 | 落合一弘（学識経験者） |

◆**第二号議案「平成二十八年度埼玉県老人クラブ大会・指導者研修会について」**
原案のとおり承認されました。

◆**第三号議案「平成二十八年度シニアスポーツ大会の役割分担について」**
左記のとおり決定しました。

- | | |
|-------------|-------|
| ゲートボール担当 | 成田準之助 |
| グラウンド・ゴルフ担当 | 清水勝美 |
| ペタンク担当 | 竹内榮一 |
| ソフトテニス担当 | 米澤幸藏 |
| ワナゲ担当 | 堀越一三 |
| マグダーツ担当 | 玉水きみ子 |
| 司会 | 駒場玲子 |



平成27年度 一般会計収支決算報告

平成二十七年年度の埼玉県老人クラブ連合会、一般会計収支決算について、左記のとおりご報告致します。

収入の部		支出の部	
49,752,523		48,882,940	
・基本財産利息収入	1,048,858	○会議費	745,044
・分担金収入	16,440,600	○事業費	17,303,156
・一般事業収入	3,799,701	・老人クラブ大会費	1,466,513
・県補助金収入	10,412,000	・女性リーダー研修会費	1,271,994
・全老連補助金収入	200,000	・友愛活動事業費	291,313
・関プロ補助金収入	200,000	・女性委員会活動事業費	290,392
・共募配分金収入	1,500,000	・市町村育成事業費	9,210
・負担金収入	6,120,700	・市町村老連会長研修会費	180,776
・特別会計繰入金	9,300,000	・高齢消費者被害防止事業費	200,201
・前期繰越収入	730,664	・関プロリーダー研修会費	3,638,358
		・社交ダンス大会費	176,844
		・地区連協活動費	645,473
		・高齢者健康増進事業費	2,691,264
		・健康づくり大学費	1,596,704
		・機関誌発行費	3,554,602
		・研修会会議参加費	339,512
		・市町村活動助成事業費	950,000
		○管理費	27,982,975
		・職員給与費	25,425,923
		・旅費	129,100
		・事務費	2,427,952
		○負担金	1,431,765
		○繰出金	1,420,000
次期繰越金		869,583	

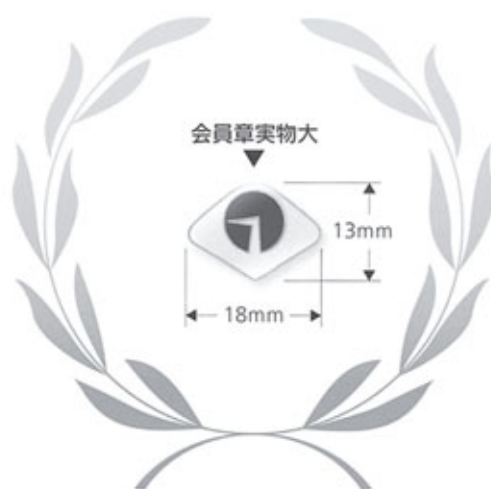
仲間と共に、地域と共に輝いて

会員章を胸に活動の輪を広げて

老人クラブ会員章は、会員一人ひとりの意欲とクラブの誇りを示すシンボル。

そして仲間、連帯のしるしです。

あなたも会員章を胸に、地域の担い手としていきいきと輝きながら、クラブ活動を広げていきましょう。



—□ 1,000円

●末広鶴と日の丸

鶴(高齢者)が、両翼を扇(末広)状に広げて、日章(日本)を担っている図。すなわち高齢者の歩みは、わが国を守り、家庭生活を支えてきたものであることを表す。

なお、両翼の張り出しは、高齢者の衰えぬ活動意欲を象徴する。

●色彩

内側の円(日章)が赤。外側の鶴が白。外周線を金色とする。

各地区連絡協議会 開催報告

東部地区

平成二十八年五月二十五日(水)
春日部市商工振興センター

〈講話〉

埼玉県警察本部「防犯対策等について」
埼玉県農業・ビジネス支援課
「農園の利用等について」
埼玉県防犯・交通安全課

「高齢者安全運転推進プロジェクトの推進、防犯交通安全シルバリーダーについて」
埼玉県高齢者福祉課「行政説明等」

〈説明〉

県老連平成二十八年度事業計画等
〈協議事項〉

- ①県老連理事候補者の選任について
- ②東部地区連絡協議会会長の選任について
- ③東部地区連絡協議会副会長の選任について
- ④県老連女性委員会委員の選任について
- ⑤平成二十八年度事業について
- ⑥その他・意見交換

西部地区

平成二十八年五月十六日(月)
富士見市民文化会館

〈講話〉

埼玉県警察本部「防犯対策等について」
埼玉県農業・ビジネス支援課
「農園の利用等について」
埼玉県防犯・交通安全課

「高齢者安全運転推進プロジェクトの推進、防犯交通安全シルバリーダーについて」

南部地区

平成二十八年五月二十六日(木)
彩の国すこやかプラザ

〈講話〉

埼玉県警察本部「防犯対策等について」
埼玉県農業・ビジネス支援課
「農園の利用等について」
埼玉県防犯・交通安全課

「高齢者安全運転推進プロジェクトの推進、防犯交通安全シルバリーダーについて」
埼玉県高齢者福祉課「行政説明等」

〈説明〉

県老連平成二十八年度事業計画等
〈協議事項〉

- ①県老連理事候補者の選任について
- ②南部地区連絡協議会会長の選任について
- ③南部地区連絡協議会副会長の選任について
- ④県老連女性委員会委員の選任について
- ⑤平成二十八年度事業について
- ⑥その他・意見交換

北部地区

平成二十八年五月十三日(金)
寄居町中央公民館

〈講話〉

埼玉県警察本部「防犯対策等について」
埼玉県農業・ビジネス支援課

埼玉県高齢者福祉課「行政説明等」

県老連平成二十八年度事業計画等
〈協議事項〉

- ①県老連理事候補者の選任について
- ②西部地区連絡協議会会長の選任について
- ③西部地区連絡協議会副会長の選任について
- ④県老連女性委員会委員の選任について
- ⑤平成二十八年度事業について
- ⑥その他・意見交換

「農園の利用等について」

埼玉県防犯・交通安全課
「高齢者安全運転推進プロジェクトの推進、防犯交通安全シルバリーダーについて」

埼玉県高齢者福祉課「行政説明等」

県老連平成二十八年度事業計画等
〈協議事項〉

- ①県老連理事候補者の選任について
- ②北部地区連絡協議会会長の選任について
- ③北部地区連絡協議会副会長の選任について
- ④県老連女性委員会委員の選任について
- ⑤平成二十八年度事業について
- ⑥その他・意見交換

主な協議結果は次のとおりです。

県老連理事候補者

東部地区 成田準之助(春日部市)、内田親

(加須市)、染谷誠一(三郷市)、添田晋六(久

喜市)、玉水きみ子(春日部市)

西部地区 高野光長(鶴ヶ島市)、細井地久

(ふじみ野市)、抜井弥太郎(志木市)、清水

勝美(日高市)、宇津木忠征(川島町)、野島

充枝(新座市)

南部地区 高橋義一(川口市)、竹内榮一(さい

たま市)、堀越一三(北本市)、新藤享弘(さい

たま市)、駒場玲子(川口市)

北部地区 新井正一郎(寄居町)、米澤幸藏

(熊谷市)、花形宏一(上里町)、坂本好司(小

鹿野町)、大久保留里子(秩父市)

区連絡協議会会長

東部地区 内田親(加須市)

西部地区 高野光長(鶴ヶ島市)

南部地区 竹内榮一(さいたま市)

北部地区 新井正一郎(寄居町)

地区連絡協議会副会長

東部地区 成田準之助(春日部市)、染谷誠

一(三郷市)、添田晋六(久喜市)、玉水きみ

子(春日部市)

西部地区 細井地久(ふじみ野市)、抜井弥

太郎(志木市)、清水勝美(日高市)、宇津木

忠征(川島町)、野島充枝(新座市)

南部地区 堀越一三(北本市)、新藤享弘(さい

たま市)、駒場玲子(川口市)

北部地区 米澤幸藏(熊谷市)、花形宏一(上

里町)、坂本好司(小鹿野町)、大久保留里

子(秩父市)

県老連女性委員会委員

東部地区 玉水きみ子(春日部市)、清水絹

代(越谷市)、大西悦子(久喜市)、齋藤静江

(白岡市)、石渡弘子(三郷市)

西部地区 山崎光子(ふじみ野市)、寺井美

知子(志木市)、高野伊九子(飯能市)、野島

充枝(新座市)、中嶋きく江(狭山市)、高橋

泰江(川越市)

南部地区 駒場玲子(川口市)、上松容子(さい

たま市)、石川みよ子(戸田市)、永井久

枝(上尾市)、高松千恵子(北本市)

北部地区 大久保留里子(秩父市)、新井幸

枝(上里町)、浅見タカ子(寄居町)

趣味の作品展示会(日にちは公開日)

東部地区 春日部市中央公民館

平成二十九年二月十五日(水)～十七日(金)

西部地区 坂戸市文化会館

平成二十九年二月二十二日(水)～二十四日(金)

南部地区 プラザノース(さいたま市)

九月三日(土)～六日(火)

北部地区 上里町役場

平成二十九年一月二十五日(水)～二十七日(金)

グラウンド・ゴルフ大会

東部地区 加須市民運動公園

十一月十六日(水) 予備日十七日(木)

西部地区 所沢市北中運動場

十一月二十二日(火)

ワナグ大会

北部地区 寄居町立総合体育館

十一月二十九日(火)

平成二十八年年度

関東甲信越静ブロック 老人クラブリーダー研修会



平成二十八年六月三十日（木）
七月一日（金）の二日間、関東甲信越静ブロック老人クラブリーダー研修会が栃木県老人クラブ連合会の主催で開催された。会場は、

日光市の「きぬ川ホテル三日月」で、関係地域から二五二名、本県からは、高橋県老連会長を含め十三名が参加した。

◎第一日目は、開会式に続いて
①基調報告

全老連参事の河野敦子氏による「老人クラブ組織の発展に向けて」の基調報告があった。

その後、分科会に分かれての討論会が実施された。

②分科会

●第一分科会

「仲間を増やす活動の推進」

●第二分科会

「健康づくり・介護予防活動の推進」

●第三分科会

「地域支え合い活動の推進」

●第四分科会

「若手高齢者の力を生かす活動の推進」

各分科会とも、老人会活動の活

発な二団体による事例発表があり、

その後、それに対する質問や意見交換がおこなわれた。

◎第二日目は、式典が開催され、関東甲信越静ブロック会長が、優良会員を表彰した。

本県の関係者は左記の通りです。

①関東甲信越静ブロック会長表彰

●竹内榮一（県老連 副会長）

●後藤 勉（県老連 監事）

●内田 親（県老連 理事）

②前日の分科会の報告会

●第一分科会のまとめ

1 老人会の役員による粘り強い

加入訪問活動の実施。

2 有料で低額の「チョコッピリお助け隊」のボランティア活動を住民の全員参加で実施。

●第二分科会のまとめ

1 筋肉づくりのトレーニングを

日常生活に取り入れた。

2 健康ウォーキングを日常生活

に取り入れて、マイペースで

おこなっている。

●第三分科会のまとめ

1 行政を上手く活用、老人会の

活動に参加すると、ポイント

が貰え、景品を交換できる仕

組みをつくった。

2 安心安全の見守りネットワー

クの仕組みに、行政、自治会、

新聞配達、郵便配達を入れた。

●第四分科会のまとめ

1 町内会の協力により若手の加

入で事業の見直しを任せた。

2 各地域より若手を一名選出し、

若手に競争意識を持たせて、

活動を活性化させた。

分科会報告の後、栃木県立博物

館名譽学芸員 千田孝明氏による

「世界遺産『日光』とその謎と魅

力」について講演を拝聴したあ

と閉会となった。

川越市 小林 松十郎

競い合うなかにも親睦の和が

ワナゲ・マグダーツ普及講習会

七月七日（木）いかにもすがすがしい初夏のひと時、県老連主催によるワナゲ・マグダーツ普及講習会が、すこやかプラザ・セミナーホールにおいて、その数、百数十名の会員のもと開催された。さすが、運動選手ですね。開催時間



前に各自トレーニングを行い、開始時間をまった。

開始にあたりワナゲは西尾和久先生。先ず競技上の注意事項を聞きながら、誰もがやる心を抑えていた。

マグダーツの講師は宮島十四二先生です。競技は、ワナゲ、マグダーツの順に開始された。

参加者は皆、慣れたもので、それぞれ指導者の競技ルールに従いスムーズに競技が行われた。

西尾先生の指導のもと、北本市老連の大坂力氏が協力。

皆さん慣れたものでフォームを整えながらゲームに集中していた。日頃から技を磨いた練習のため、その成果を発揮していた。何はともあれ、得点だけにとらわれることなく、楽しく愉快にゲームを進めることがなによりで、この種の競技に打ちこむ。そのことが、自ずと健康維持と増進にもつながり、高齢者にとって、ほどよく楽しめる競技だと実感した。

北本市 佐田 一郎

県老連 女性委員会交流研修会に参加して

七月八日、連日の猛暑がいくらかやわらぎ、まずまずの天候となりました。

参加者四十三名、山梨へと向かいました。隣県ですので時間的にも短く、途中で桔梗屋お菓子の博物館に立ち寄りしました。

山梨は山林が多く、ぶどう、桃の日本一の産地です。目的地、甲府市は広々とした都会でした。

やまなしプラザ（山梨防災新館）での講演は、山梨県老人クラブ連合会常務理事兼事務局長吉田泉氏による「会員増強運動又地域支援事業について女性リーダーに期待すること」でした。

会員増強は平成三十年代までの五年間全国百万人増強運動で、今は中間地点、高齢者は増えているが会員数は減ってきている。この現状を踏まえて女性の力を大いに発揮して欲しい。また、新地域支援事業においても老人クラブの必要性と女性への期待、普段の活動でも積極的に参加するのは女性が多いが、クラブの会長、役員への

女性登用は少ない。魅力ある老人クラブ運営を女性リーダーに期待したいとのことでした。「高齢者は介護サーピスの受け手であると共に担い手でもある。サーピスの担い手となるのも多くは女性である。」

講演のあと、山梨県の自慢のひとつつ近代的な建物の「ジュエリーミュージアム」を見学させていただきました。

昼食は富士屋ホテル、ゆっくりと甲府市内を眺めながらのバイキングでした。

帰りのバスは、前年の全国大会「演じる部会」で金賞を受賞した川口市女性部とさしまスローライフの皆さんのDVDを拝見し、歓声と賞讃の声で大変賑やかでした。

戸田市 石川 みよ子



総力を結集して、埼玉3万人

会員増強を達成しましょう

109号
特集

「新地域支援

事業」について 4

～新座市老人クラブ連合会が新地域

支援事業に参画するまでの経緯～

～新座市老人クラブ連合会は「健康活動」から新地域支援事業に参画しました～



新座市は、市内に暮らす高齢者が住み慣れた地域でいきいきといつまでも尊厳を保った生活が送れるよう、平成26年度から「健康長寿のまちにいざ推進事業」（65歳以上の方を対象とした健康体操等）を開始し、地域全体で健康づくりに取り組むことで健康寿命の延伸を目指しています。

新座市老人クラブ連合会も、今まで数々の健康増進活動に取り組んできておりますが、今回、いくつかの事業を**市の事業**として統合し、会員の皆さんが積極的に参加及び協力することで、さらなる継続的な健康づくりや介護予防ができる環境が整備されました。

また、このような活動により、一般高齢者の方々と親睦を図る機会を確保し、会員増強や多様な集いの場づくりへとつながり、ひいては地域が活性化されるものと考えます。そして、この地域の活性化こそが、新地域支援事業への様々な主体の参画を可能なものとし、更に老人クラブにおいても活躍の場が広がるものと期待しています。



新座市老人クラブ連合会 38クラブ、会員1,769人（平成28年4月1日現在）

	新座市老人クラブ連合会 (事務局：長寿支援課)	新座市 (新地域支援事業担当課：長寿支援課)
平成26年4月～	平成26年度から27年度までの2年間、県老連の友愛活動モデル指定を受ける。 市老連の健康活動 <<参考>> 平成18年度～老人クラブ連合会主催 ●「健康増進研修会」（健康体操）の実施 年10回、会員限定で事業の実施 ●「月例健康ウォーキング」の実施 毎月1回、計12回 市内5コース	介護保険制度の見直しに伴い、各市町村は新地域支援事業として新たに事業に取り組む必要が出てきた。 「健康長寿のまち推進事業」の開始 ●「にいざ元気アップ広場」の実施 ●「にいざの元気推進員」の養成
平成26年5月～	新たに「友愛活動部会」を設置。友愛活動モデル指定をきっかけに、老人クラブの事業内容等について見直しの協議を始める。	
平成26年9月～	新座市は、「新地域支援事業の担当」と「老人クラブ連合会事務局」が同じ長寿支援課であることから、関係者を含めて話し合いを行い、双方の同じような事業を「市の事業」として統合し、老人クラブ会員の積極的な参加と協力により事業を進めることとする。 【平成27年度から市の事業として統合事業】 にいざ元気アップ広場 平成27年度 市内26か所の集会所等 計246回実施予定 ※老人クラブ会員には、会場設営や受付のお手伝いを依頼 月例健康ウォーキング 平成27年度 毎月1回、年12回開催 その他、「介護予防ウォーキング教室」（年3回開催） ※老人クラブ会員には、コース設定の検討や準備運動、安全確認の役割を依頼	
平成26年10月～	理事会にて事業内容変更の報告、承認及び協力要請	事業の準備（講師、会場等の調整）
平成27年3月	関係者（担当課職員、保健師、運動指導員40名、看護師、元気推進員、介護予防協力員、体育協会職員、老人クラブ（各単位クラブ会長40名））計約120名を集めて、事業説明会を開催	
平成27年4月～	事業の開始	
平成28年3月 (平成27年度実績)	●「にいざ元気アップ広場」→市内26か所、計257回開催 参加延べ人数：5,971人 ●「月例ウォーキング」→年9回開催（3回雨天中止） 参加延べ人数：531人	
平成28年4月～ (平成28年度)	●「にいざ元気アップ広場」→市内36か所に会場を拡大して実施中 ●「にいざ元気アップウォーキング」に名称変更し、年15回に拡大して開催中 ●介護予防ウォーキング教室は年3回開催	

※次号も新座市老連の新地域支援事業の内容を紹介します。

全老連 老人クラブリーダー中央セミナーに参加して

仲間を増やしていこう！

六月二日～三日 新霞が開ビル（東京都千代田区）で開催。全国の都道府県・指定都市から総勢八十五名が参加。

新地域支援事業の本格的な取り組みを推進すべく実践事例・情報交換が行われました。全老連の齊藤常務理事の講演では、二〇二五年に七十五歳以上の高齢者がピークに達する。いわゆる団塊世代の組織加入が、今後の老人クラブ活動の命運を左右する、とても重要な事項と強調されていました。

活動事例紹介では、さいたま市老連の新藤副会長が、「友愛活動で新地域事業への参画を目指す」のテーマで話されました。さいたま市老連活動は、自分たちが中心となり、共助の精神と関連組織の協働が重要であると訴える内容でした。迫力ある話で、万雷の拍手を受けました。

東京荒川区の「サロン活動」の紹介では、区内老人クラブ百二十団体で八十ヶ所のサロンが開設・運営されていて、会員以外も参加できる開放型の運営をしています。サロンの実運用は、老人クラブ・

自治会・社協、地域ボランティア団体・大学、商店会など協働しています。老人会は得意な人集め。（案内、送迎、運営、演芸、元シェフなど多才な人材が居る）専門知識を持った社協と福祉団体。場の提供は自治会など、まさに協働です。行くところが出来たと好評。「ふれあい粋・活（いきいき）サロン活動」と称しています。参加者交流の分散など協働でなく対立している実態も聞き地域差を実感した。研修のまとめの言葉として聞いた、「リーダーの百歩も大切だけど、みんなで一歩を歩む」と、次期の後継者を意識して言葉が印象的でした。



会員の皆さんも機会がありましたら、全国から仲間が参集する研修会など参加してみてください。自分たちの活動もそれなりに自信を持てると思えました。

さいたま市 渡辺 充

県老連 女性リーダーの三日川口警察署長就任(県内初)

振り込め詐欺被害防止キャンペーンの開催

四月十七日(日)川口市老人クラブ連合会は、県警察及び川口署からの要請を受け、川口市内のショッピングモール「ララガーデン川口」にて、振り込め詐欺被害防止のキャンペーンに参加しました。

開式の後、川口警察署長に続き、埼玉県老人クラブ連合会会長（兼・川口市老人クラブ連合会会長）の高橋義一会長からご挨拶が行われました。

そして、全国老人クラブ連合会女性委員長（兼・県老連女性委員長）の駒場玲子委員長が一日川口警察署長に委嘱され凛々しい制服姿で会場の皆様へ、振り込め詐欺撲滅宣言を行いました。

この時の宣言文には、振り込め詐欺被害をなくすために
①留守番電話機能を積極的に活用して自宅にかかってくる不審な電話に注意する

②お金に関する突然の電話や通知を受けても慌てず、一人で判断せずに家族や近所の方に相談する

③不審な電話がかかってきたら警察に連絡する

この三つのことを一人一人が注意するよう宣言されています。

振り込め詐欺は、本年四月末現在で、被害件数二九三件、被害総額六億九一〇万円と甚大な被害が続いており、被害者の八十二パーセントは六十五歳以上の方々です。老人クラブでは、「県内の高齢者の中から被害者を出さない！」との思いをこめて今後も警察と連携して被害防止への協力を行っていきます。

この日のキャンペーンには、地元川口市老人クラブ女性委員の方々も揃いのピンクのジャンパーを着て応援に駆け付け、来客者約三五〇名一人一人に振り込め詐欺への注意を促すチラシと啓発品を手渡し、大盛況のうちに華やかなひと時が過ぎました。

落合 一弘

さしまスローライフ
特別養護老人ホームを訪問!

入居者との『エコファッションショー』

三月十七日(木)午後二時〜三時、川口市赤芝新田の特別養護老人ホーム川口キングス・ガーデンの二階集会室にて、「さしまスローライフ」による、「エコファッションショー」が盛大に開催されました。

川口市老連のさしまスローライフは、生活支援・介護予防活動が



評価され、第四十四回全国老人クラブ大会で活動交流部会、第三部会で金賞を受賞した。新聞紙を使用したエコファッションでは、全員が豪華な衣装と笑顔を披露し観客からどよめきと共に大きな拍手をもらいました。

古新聞紙や広告で作られた衣装をエコファッションと呼んでおり

二〇一四年の五月に誕生した。

川口キングス・ガーデンの入居者との交流では、①大名行列 殿様、奥方、腰元 ②花魁道中 花魁、男衆 ③舞踏会 ドレスの淑女 ④ハイカラさん ⑤銀座カンカン娘など江戸時代から昭和までの代表的な衣装での舞踊、写真撮影会と賑やかに行われた。入居者の方とさしまスローライフの会員が、温かい交流ができ、笑顔の絶えない、エコファッションショーになった。川口キングス・ガーデンが輝きを増した一日だった。

活動紹介

一、クラブ活動

- (一)カラオケクラブ、毎週水曜
- (二)書道クラブ、毎月三回土曜
- (三)グラウンド・ゴルフ、週三回 月・水・金
- (四)歌う会、毎月第二水・第四火曜
- (五)なかよしウォーキングクラブ、毎月十日・二十日
- (六)ハーモニカ同好会、毎月二回、火曜日・土曜日
- (七)ゴルフ同好会、不定期
- (八)パソコンクラブ、毎月第四金曜日
- (九)お遊び健康クラブ、毎月第一

・二・四火曜日

(十)友愛活動、訪問活動等

二、健康活動

- (一)お楽しみ会、毎月第三火曜
- (二)若返り健康講座、毎月第三火曜日
- (三)ラジオ体操の集い、毎日(雨天中止)
- (四)日帰りバス旅行、春・秋 市老連研修旅行の参加
- (五)市老連グラウンド・ゴルフ大会の参加

三、学校応援団

- (一)登下校見守り(スクールガード)
- (二)グラウンド・ゴルフ部「指導」
- (三)運動会 「応援」
- (四)校内長距離競走大会「応援」
- (五)昔あそび(一年生)「指導援助」
- (六)給食試食会「交流」

四、その他

- (一)真昼の盆踊り
- (二)社会奉仕の日
- (三)男の料理教室
- (四)さしまスローライフだよりの発行

今後のご活躍を期待しております。

さいたま市 五十嵐 博一

さいたま市老人クラブ連合会(さいたまシニアクラブ)

「平成二十八年年度総会に参加して」

五月三十日、大宮区役所で、平成二十八年年度総会が開催された。平成二十七年年度の事業報告や収支決算報告が承認され、平成二十八年年度事業計画と活動予算の提案が全会一致で承認可決された。総会での、竹内会長のごあいさつで心に残った言葉を紹介します。

少子化と高齢化は、同列の問題では無い。少子化は今の社会の仕組みを変えなければ解決できない。若い人の雇用と女性の働く場が、何ら良い方向に動いていない。女性が働き続けるのはたった四割。公務員だけでも言える。これを解



決する政治が動いていない。高齢化対策は、シニア世代が自分達の出来ることを積極的に担う意識と行動が大切であると話されたことが印象的でした。

さいたまシニアクラブは、介護保険制度の改正により、市との協議の結果、新地域支援事業に「友愛活動」で参画を目指し、平成二十八年年度事業計画の推進事業に友愛活動を新たに加えました。さいたまシニアクラブは十区からなり、このすべての区で友愛活動を取り組むことが理事会で決定しました。今回は、総会に先立ち、友愛活動を先進的に取り組んでいる見沼区の山路孝会長と桜区の岡崎憲次会長が事例発表を行いました。会長・副会長は、この事例発表を聞き、一人でも多くの会員の皆様が、友愛活動の重要性に気づき、積極的に取り組んでもらうことを願って取り入れられました。

活動を他機関との連携を当初から考慮した取り組みとしているところです。社会福祉協議会・地域包括支援センター・民生児童委員・ケアマネージャー・ホームヘルパー・自治会と密接な連携を取ると活動要綱でうたっている点が見解と実現性を確かなものとしていきます。また、予算も明確化されています。

桜区の、「イトーピア西浦和はつらつ会」の事例では、「集合住宅の支え合いをしていく」として自治会が主体となって「見守り活動」をはじめられています。活動の組織づくりも、はつらつ会(シニアクラブ)・自治会・民生児童委員でチームを作り、対象者の絞りこみ、会員への事前アンケートなど行っています。準備に約二年をかけて慎重に準備されました。地域包括支援センター、桜区高齢介護課とも相談と連絡のルートをきちんと構築しています。

今回、紹介された二つの事例でも活動開始にあたり、関連する機関との連携をきちんと考慮し、実際に機能させていることが、大いに参考になると思います。

さいたま市 渡辺 充

川越市老連 第八支部

「岸町カラオケ

発表会」開催

第八支部主催の「岸町カラオケ発表会」が、平成二十八年六月十七日(金)岸町二丁目自治会館にて、出席者五十三名で開催された。今回は、カラオケ機器の修理もなされた上、スピーカーも新たに設置された素晴らしい音響のもとでの開演であった。

出場者は練習の成果を思う存分披露しさらに参加費五〇〇円で、食事と飲み物にお土産付で楽しい一日を過ごした。

出演者の中には、セミプロ級の人々が数多くいて、その都度、拍手喝さいを受けていた。

川越市 小林 松十郎



老人クラブ3つの保険〈掛金・保険金内容〉

傷害保険

平成28年7月1日改定

① 総合型

〈クラブ活動中・クラブ活動中以外を問わず日常生活全般(24時間)のケガを補償します。〉

☛ クラブ活動中のケガの場合は、**白地** + **薄いグレー** の合計 **黒色** の保険金額が支払われます。

☛ クラブ活動中以外のケガの場合は、**薄いグレー** のみの保険金額が支払われます。

年間掛金	10,000円	5,000円	3,500円	
ケガをした時の状況	活動型 活動中のケガの場合	総合型 活動中以外のケガの場合	活動型 活動中のケガの場合	総合型 活動中以外のケガの場合
死亡保険金	170万円 217万円 387万円	85万円 109万円 194万円	45万円 91万円 136万円	
後遺障害保険金 ^(注1)	170万円 170万円	85万円 85万円	45万円 45万円	
入院保険金日額 ^(注2) (1事故につき 30日限度)	4,000円 6,280円	2,280円 3,140円	2,000円 1,950円	1,140円 950円
通院保険金日額 ^(注3) (1事故につき 30日限度)	2,600円 4,300円	1,700円 2,150円	1,300円 1,250円	850円 600円

※「総合型」の職種別A級は無職・事務職(傷害リスクの低い職業)等です。B級(傷害リスクの高い職業)については、下記をご参照ください。

ご注意

- 職種別A級に該当するおもな職種
建設作業員、自動車運転者、採鉱・採石作業員などの傷害リスクの高い職業。
上記に該当する方は、保険金額が変更になります。
詳しくは取扱代理店もしくは引受保険会社にお問合せください。

② 活動型

〈クラブ活動中とその往復途上^(注3)のケガを補償します。〉

☛ クラブ活動中のケガの場合は、下記の保険金額が支払われます。
クラブ活動中以外のケガの場合は補償されません。

年間掛金	2,000円	1,000円	500円
ケガをした時の状況	活動型 活動中のケガの場合	活動型 活動中のケガの場合	活動型 活動中のケガの場合
死亡保険金	170万円	85万円	45万円
後遺障害保険金 ^(注1)	170万円	85万円	45万円
入院保険金日額 ^(注2) (1事故につき 30日限度)	4,000円	2,000円	1,000円
通院保険金日額 ^(注3) (1事故につき 30日限度)	2,600円	1,300円	650円

ご注意

クラブ活動とは、各クラブで予め企画、実行したものを指します。

※注1 後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。(後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡・後遺障害保険金額の4%~100%が支払われます。)
※注2 手術保険金のお支払額は、入院中以外(外来)は、入院保険金日額の5倍または入院中は、10倍となります。
※注3 往復途上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建では敷地を含む)を出てから、活動場所までの通常経路を指します。

クラブの全会員加入が条件です。 老人クラブ活動専用 賠償責任保険

③ クラブ全員型

補償範囲：老人クラブ活動中の対人・対物(損壊)の損害補償(自動車等の所有・使用・管理に起因する事故は、対象外)管理下財物(注)の盗難・紛失等を補償します。但し、往復途上の事故およびご自身のケガは対象となりません。
注)日本国内において被保険者(単位老人クラブ・会員)が占有または使用等している第三者の財物

掛金：クラブの全会員数×100円(但し、最低引受保険料3,000円)

支払限度額：1億円
 ※施設賠償責任保険：対人・対物(1名・1事故)
 ※生産物賠償責任保険：対人・対物(1名・1事故・保険期間中)
 ※初期対応費用、訴訟対応費用特約：支払限度額500万円(1事故)も付帯されています。

※詳細については、賠償責任保険の「概要・ご加入の際の注意事項」をご参照ください。
(お支払される保険金は、事故の損害額や賠償責任割合に基づき、保険会社が査定いたします。)

保険期間：毎年10月1日(午後4時)~翌年10月1日(午後4時)までの1年間

申込方法：毎年9月15日までに賠償責任専用の掛金払込用紙(払込取扱票)で掛金を払込みください。
加入時に会員名簿の提出は必要ありません。

中途加入：「新規加入のクラブ」および「会員の追加加入」は可能です。
 ・「新規加入クラブ」：毎月15日までに掛金の振込で翌月1日からの加入となります。
但し、保険期間は直近の10月1日までとなります。
 ・「会員追加加入」：届出は不要です。掛金は加入年に限り必要ありません。

公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-8822 東京都千代田区豊が岡3丁目6-14 三久ビル1階102号

◆最寄りの市町村老人クラブ連合会に常備しています。
◆不足の場合は市町村老連を通じて下記までご請求ください。

加入申込書等、資料請求先 **専用FAX 03-3597-8767** お問い合わせ先 **03-3597-8770**

受付時間 9:30から17:00まで(土、日、祝祭日、年末年始)

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> 老人クラブ連合会 保険係 メールアドレス hoken@senior-ltd.com

〈取扱代理店〉 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8769
 (引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社(担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 TEL.03-3515-4144

この広告は、「老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付普通傷害保険)」、「普通傷害保険」、「老人クラブ活動専用賠償責任保険(施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険)」についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「老人クラブ3つの保険ご案内(シンプレット)」「概要・ご加入の際の注意事項」等をよくお読みください。詳細は、保険会社よりご契約者である団体の代表者にお渡ししております保険約款によります。ご不明な点等がありました場合には、全老連保険係または取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。

さいたま市中央区桜寿会 『誕生会』

六月十九日(日)父の日、十時半、落合事務局長と椎名主査と一緒に西与野コミュニティホールに十一時前には入る事が出来、調理の取材もできた。

毎回食事は女性部員による手作り料理で、チラシずし、うどん、玉子焼、煮物等十数類と、調理室で作る。

第八十九回の誕生会で四月〜六月の誕生月の方、十九名に記念品として紅白のおまんじゅうが会長より手渡された。誕生会は会費千円。

会員は現在八十三名で、誕生会は年四回実施している。今まで二十二年間も続けられていることで、諸先輩からの積み重ねで今後も、百回〜二百回と続けて行くとうと会長の挨拶。竹内会長は前会長が自治会長になった平成十六年に引継ぎ、平成二十二年に区老連の会長、平成二十四



年に市・県の役員となり、平成二十七年に県の副会長になる。

現在の女性部長は前会長の奥さん(村松さん)で、前会長の時の女性部長吉村さんと現在の基礎を作られた。

会食のあとカラオケ、ピンゴゲーム等で楽しんだ。

三ヶ月ごとの誕生会の他、グラウンド・ゴルフ、歩こう会、カラオケ、手芸等のクラブ活動もあり、今年から友愛活動も開始される。

さいたま市 五十嵐 博一

消費者ホットライン「188」の御案内

●高齢者の消費者被害の状況

埼玉県の消費生活相談件数はここ数年5万件前後で推移しています。このうち、高齢者からの相談は、全体の約1/3以上を占めています。

高齢者の被害が多い理由としては、日中家にいることが多いため電話や訪問販売に遭う機会が多いことが考えられます。また、高齢者の三つの不安(「健康」、「お金」、「孤独」)につけ込もうとする悪質な業者がいることもあります。

お一人お一人が気を付けていただくとともに、お互いに声を掛け合うなどして消費者被害に遭わないようにしましょう。

なお、消費生活相談でどこに相談してよいか分からない場合は、お一人で悩まずに消費者ホットライン「188」を御利用ください。

●消費者ホットライン「188(いやや)」の御案内

消費者ホットラインは、消費生活相談窓口や連絡先を御存知ない消費者に、お近くの消費生活センターの窓口を御案内することにより、消費生活相談の最初の一步をお手伝いするものです。

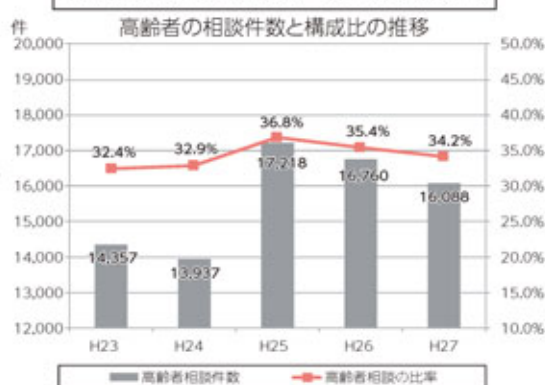
電話番号を覚えやすいように、平成27年7月から局番なしの「188」になりました。「いやや」と覚えてください。

音声案内に従い郵便番号を入力すると、お住まいの市町村の消費生活センターの窓口につながります。郵便番号が分からなかったり、電話をかけていただいている曜日・時間帯によっては、県の相談窓口につながることもあります。

お住まいの消費生活センターや県消費生活支援センターの電話番号を御存知で、その相談窓口への相談を御希望の場合は、直接そのセンターへお電話してください。

埼玉県県民生活部消費生活課

高齢者に関する相談(契約当事者が60歳以上)



※ H27の数値は暫定値です。

大好評! 埼玉県老人クラブ連合会指定旅館!

※平日に限ります

ポイント

- ・15名様以上送迎付宿泊プラン!
- ・傷害保険(死亡時1000万円)付!
- ・宴会時2人に1本の割合でビール付!
- ・宴会は完全個室宴会場にて!
- ・宴会時カラオケサービス!
- ・宴会時、全員にお酒又はジュース1本付!
- ・観光を取り入れたオリジナルコースを無料作成!

県	地名	ホテル名	1泊2食(税込)	
			7~9月	10~11月
長野	戸倉上山田 [♫]	ホテル雄山	9,150円	10,650円
長野	斑尾花が入 [♫]	パートンホテル	11,500円	12,500円
長野	白馬	けやきの樹	9,900円	9,900円
栃木	乃木 [♫]	乃木温泉ホテル	11,800円	11,800円

※その他指定旅館以外のホテルも多数ございます! ※10名様から送迎可能なホテルもございます!

詳しくは、お問い合わせ下さい。資料をお送り致します。

全国旅行業協会(ANTA)会員・栃木県知事登録旅行業第3-695号

個人宿泊から
団体旅行まで
予約・手配・コース作成は

株式会社 旅らんど

〒320-0822 栃木県宇都宮市河原町7-5 フェニックス瑞雲508号室
028-688-8322 FAX 028-688-8323

営業時間 AM9:00 ~ PM5:30 (定休日: 土・日・祝日)

総合旅行業務取扱管理者/金子 慎
[企画実施] 楽旅クラブ 茨城県知事登録旅行業2-618号
茨城県筑西市幸町3-15-11

お電話1本で!

老人クラブ「彩愛クラブ埼玉」の皆様



お仏壇
神仏具 **10% OFF**

一部特価品、特注品、一部商品を除く

お線香
ローソク **10% OFF**

一部特価品、特注品、一部商品を除く

お墓
(墓石・工事代) **10% OFF**

永代使用料、年間管理費、供養料、一部霊園・一部石種・屋内墓苑を除く

初回ご来店の際には「彩愛クラブ埼玉」とお申し出ください。有効期限 H29.3.31
それ以降のお申し出は特典無効となります。※他の割引サービスとの併用はできません。

お問い合わせ
資料請求



はせがわ
つなぎます。心と、いのちと、人。

0120-11-7676
(10:00~18:00 不定休)

www.hasegawa.jp

元気に活躍する
会員さん
紹介

小鹿野町 浅見シゲさん

「多芸は長寿の秘訣」



平成二十八年
三月九日、十一
日、秩父市荒川
農村環境改善セ
ンターで行われ

た北部地区趣味の作品展に九十八歳の女性の力強い筆遣いの、『玉雪開花』の軸があった。

お書きになったのは、出品者で最高齢の浅見シゲさんである。

五月の下旬お訪ねすると、庭先でこまごまとした仕事の最中だった。早速一日の様子を伺うと起床は五時、炊事・洗濯・掃除・それが済めば畑にもでる。床に就くのは大体九時で、自らを「この家の女中」だと仰っしゃる。

いろいろお尋ねすることに、若いものと変わらぬ語調で答える。元気のもとと食事があると、聞くとは好みは肉料理とのこと。それか

ら料理に味噌を多く使われる。いまでも味噌は自家製、できたものを近所におすそ分けされる。市販のものは発酵が不十分、健康にはじっくり発酵させた自家製の味噌に限ると言い切られた。毎朝、そのみそ汁を三杯飲まれるとのこと。趣味は書のほかに随筆も書かれる。公民館の文芸誌に、人生論などを投稿された経験も持ちだ。

さらに、現在の世の中の動きにも鋭い批判をもっている。

それもその筈、毎日、新聞を二時間あまりかけて読まれる。

居間にある立派なテレビが持て余しているのを感じた取材のひとときだった。

深谷市 小林 英

※取材協力 小鹿野町社協

久保 彰様

さいたま市南区 齊藤健治さん

「ひとり住いの高齢者への見守り活動」



私の家の近くにTさんという九十二歳になる高齢の女性が、永年自宅をひと

り生活をしている時、私たち夫婦は時々お茶飲み話に出かけて行きました。

そのうち、都内に離れて住む娘さんが母のひとり住まいを心配して、市内の高齢者介護施設に入所させました。その施設は、最寄りの駅から約二キロの所にあるため、近所の人が見舞いに行くには不便な場所であり、足が遠のいています。

私たち夫婦は幸い自転車に乗れるので、月一回ささやかな手みやげを持って訪問しています。そのたびに寿楽会や近所の人々の様子を話してあげると、Tさんはたいへん喜んでいきます。

これからも単位クラブ「寿楽会」の「見守り活動」のひとつとして、できるだけ永く続けていくつもりです。

松伏町けんこうクラブ連合会
会長 一色 恒義 様
(八十六歳)

平成二十八年五月八日逝去されました。
ここに、生前のご功績を称え謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

「彩愛クラブ埼玉」

の発行には、共同募金の配分を受けています。



編集後記

超高齢社会の中で、地域包括ケアシステム（重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供されるシステムのことです。）の構築のため、老人クラブは、生活支援・介護予防の担い手として、大きな期待を厚生労働省から受けています。

百九号、十六ページ掲載の「元気に活躍する会員さんの紹介」の記事は、高齢者になっても、生きがいと仲間づくりで地域のために活躍するすばらしい活動事例です。老人クラブ活動は、「健康寿命」を延ばすこと、そのものです。

平成二十七年度の介護保険制度改正に伴い、ますます増加する地域の要支援高齢者を、私達老人クラブは今まで取り組んできた「友愛活動」と「健康づくり」を通して、地域の関係機関・団体と共に協力・連携し、生活支援・介護予防の担い手として活躍しましょう！

北本市 佐田 一郎